直線美の美しい擁壁に、丸みを帯びたシンボルタワーがそびえるN邸。南側はガラスで覆われ、開放感のある建物設計となっている。

01

GARAGE LIFE EXAMPLE

デザイン美を追求した、大きなガレージを併設した家。

大阪府　N邸

大阪府茨木市。昔からの閑静な高台の住宅地に、
RC 造の大きなガレージハウスが建築された。
垂直のラインのなかに、丸みを帯びたタワーがそびえ立つ、
シンプルなデザインのなかに美を求めながら、
プライバシーと開放感を両立させている。

text/Jun-ISHIHARA（石原　淳）
photo/Keigo-KIMURA（木村圭吾）
special thanks to SAFTY LIFE

01

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.N

シンプルなガレージのなかに、挿し色が決まった空間。

今回、設計されたN邸は高台に位置しており、外観はプライバシーが保たれた擁壁で覆われているいるように見えるが、南面が開放的に開いていて高台のため全面ガラスとなっているなど非常に開放的な空間が広がっている。昔からドイツ車を中心にドライブしていて、8台の愛車がマンションの駐車場、実家、会社と分散していたため1か所にまとめられないかとガレージを要望した。また防音を含めて優れているのはRC 造。いわゆる打ちっぱなしを希望して、昔から付き合いのある建築家・天藤建築設計事務所に依頼した。

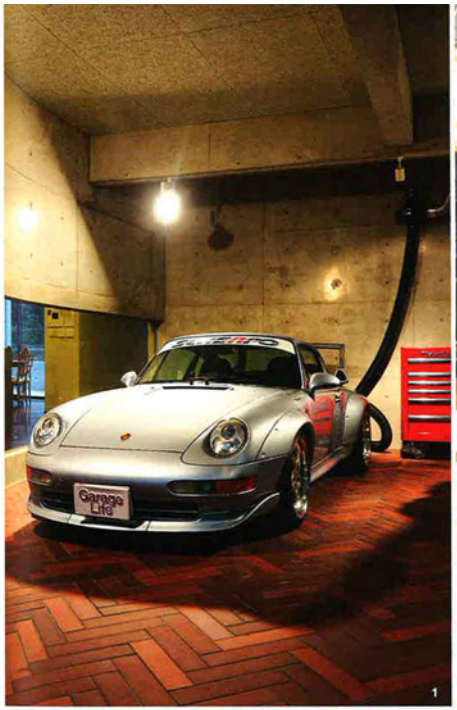
Nさんが所有するクルマ、ポルシェは公道のレーシングカーとも呼ばれるポルシェ 993 GT2。世界選手権やルマン出場のためのホモロゲモデルとして開発され、100台しか一般に販売されなかったという名車。もう1台がポルシェ 964ターボ3というどちらもドライブして楽しめる2台。オーナーのNさんも、仕事のリフレッシュを兼ねて淡路島くらいまで奥様とドライブを楽しむというポジショニングの2台である。どうしてもこの2台は、ガレージに納めたいこと、そしてリビングからディテールを楽しめることも今回のガレージ造りのポイントとなった。

建築家・天藤さんもポルシェのドライブをするため、リビング・ダイニングからガレージの見え方にはこだわった。ペアガラスから、さりげなくクルマが見えるようにしたところは施主のNさんも気に入っている。また8台、ガレージに納めるには無理があるのでガレージには最大5台。通常のクルマは玄関前のアプローチに駐車するなどメリハリを付けている。そのため、N 邸には邸宅の前にブルーにペイントされたガレージドアが1 枚設けられ、ガレージ前にもオレンジにペイントされた電動シャッターを設ける構造となっている。

『天藤建築設計事務所』は、個人住宅だけではなく公共施設、商業建築も行っているためデザイン美に優れている建築設計が多い。そのため、今回のガレージにも美を追求していることがよく分かる。床に貼られたタイルはクラシックな雰囲気に感じるヘリボーン貼りを採用。ガレージで暖気したときに排出されるガス対策として、『セーフティーライフ』のEG WAYOUT が導入された。隣家との関係もあり、今回はパイプを延長した特別オーダーとなったため、中間モーターを1 機追加し、確実にガレージの外に排気ガスが排出できるように設計された。同様に、ガレージ内の換気扇もRC の壁面に設置ではなく、パイプ式のものを取り入れた。また暗くなりがちなガレージ部分には、ガラスブロックによる採光にするなど細かなディテールにまで拘った。

そしてポイントとなっているカラーは、設計事務書からの提案という。屋根にグリーン、ガレージシャッターにブルー、オレンジなど一見、マッチングが難しそうなものをさりげなく取り入れることがN 夫妻も大変、気に入っている。やはり、2 人の性格を熟知した建築家だからこそ提案し、気に入ってもらえたポイン

三和シヤッター製オーバードア『威風動々』を情熱的なレッドでペイント。クルマの入れる位置によりガレージ内はさまざまな表情を見せる。

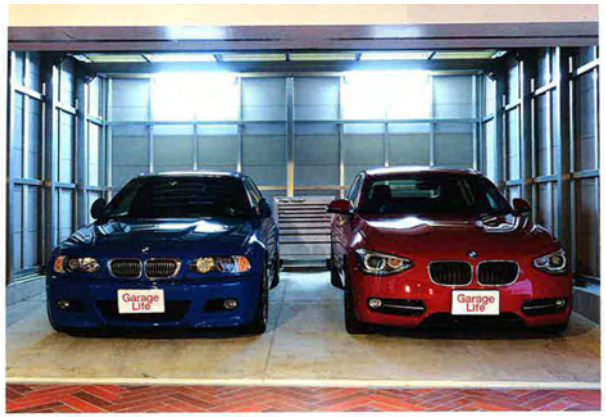


1

3

1 ／リビングダイニングと、大きなガラス面で結ばれたガレージ。ご主人がガレージで、奥様がキッチンにいても容易にコンタクトが可能だ。
2 ／ドイツの人気メーカー・ポーゲンポール製キッチンを選んだという奥様。アイランドキッチンは大きくて使いやすい。
3 ／ガラスブロックにより採光性の高いガレージとなった。スポットライトによりクルマを照らし、ディテールを楽しめるようにしている。

2



初代M3スポーツエボリューションやBMWの限定車M5も所有するNさん。基本は乗ってパフォーマンスを楽しんでいる。脇は奥様の愛車。

トとなっている。また建物のシンボルともなる丸い塔には玄関と書斎が用意された。料理研究家として活躍する奥様には、ドイツでも品質を誇るキッチン『ポーゲンポール』のシステムキッチンが導入された。「派手な面材と心配しましたが、むしろしっくりきました」とは奥様。約2年の歳月をかけて入念に打ち合わせが行われたN邸は、2012年4月に竣工した。デザイン美の美しい建物に仕上がったN邸は、お二人にとって大変満足のいくガレージハウスとなったに違いない。

01

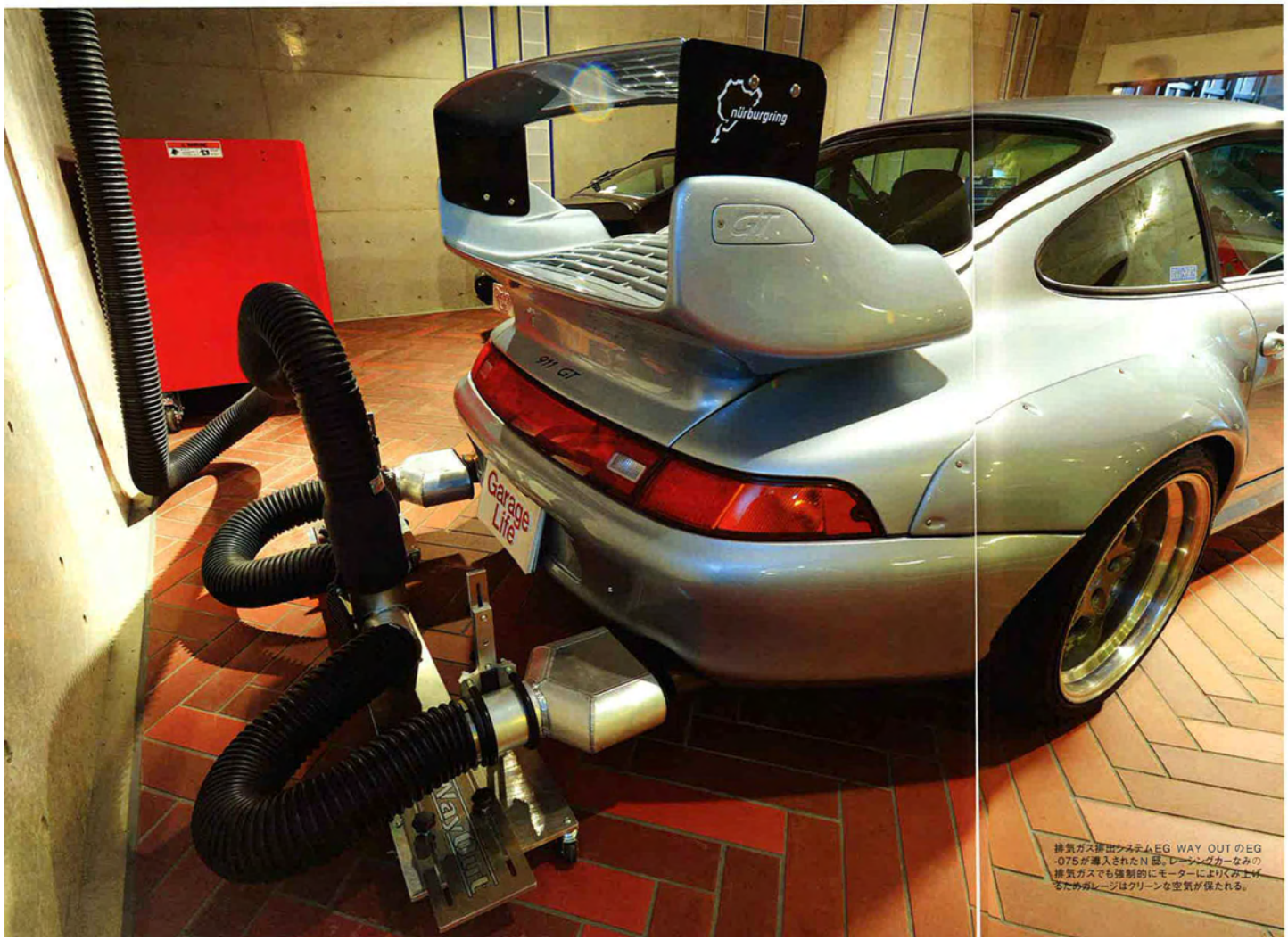
GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.N

PLANNING DATA & MATERIALS

限定車が納まるガレージ、
素材にもこだわって施工。

ライトはレールを採用して追加、ポジションの変更も可能にしている。各種ライトは人感センサー対応のシステムにより点灯する。EG WAYOUTの追加のモーターと、換気扇は天井にまとめて設置された。

ガレージには設置されたTOOL BOXはMac Tool製MB7432の新製品が導入された。またMB1000Aもガレージドアとのマッチングも合わせて導入された。床面はレンガタイルをヘリボーン仕上げにすることでクラシックなイメージに仕上げた。



排気ガス排出システムEG WAY OUTのEG-075が導入されたN邸。レーシングカーなみの排気ガスでも強制的にモーターによりくみ上げるためガレージはクリーンな空気が保たれる。

P PLANNING DATA

所在地●大阪府
施主●Nさん
竣工●2012年4月
構造●RC2階建て
敷地面積●約230坪
愛車●1996年ポルシェ993 GT2
1993年ポルシェ964ターボ　他6台

O OWNER'S CHECK

■一番気にいっているところは？
ガレージが広いのでゆとりがあってよかった

■ちょっと失敗したところは？
間口がやや小さくて、クルマの出入りを考えたら大きくすればよかった

■次の夢はなんですか？
妻のために新しいポルシェが欲しいと考えているところです。

■読者へのアドバイスを！
自分たちのライフスタイルを理解してもらえる方とガレージハウスを建てましょう。

C COMMENT FROM A BUILDER

株式会社　天藤建築設計事務所
天藤久雄さん

ガレージは10台分お願いします。N邸の設計打ち合わせの第一声はここから始まりました。これまで私はいろんなタイプのカーキチ・クライアントの住宅設計を数多く手掛けましたが、今回は最高です。普私も、CAR評論家の徳大寺有恒著「ポルシェ911個愛学」と言う本に感化されてポルシェを買ってしまいましたが、徳大寺氏曰くスポーツカーは「なんと言われようが私はポルシェ911を盲愛、溺愛しているのだ」につきます。ポルシェ同様、奥さんも盲愛、溺愛してください。

神戸市灘区篠原北町3-14-12-401
phone:078-882-7211
info@tendo-associates.com

三和シヤッター製、オーバーヘッドドアにペイントを施したN邸。シンプルなRCのなかに、窓枠サッシも同様に色を足す効果を出している。